



## 新しい知事になって



理事 薄井 賢志

2月9日に実施された東京都知事選挙は舛添要一氏が当選し、今後4年間の東京の顔となります。その後には東京オリンピックも控えており、何事もなければ最低でも2期8年は務めることになりそうです。

公約には4年間で待機児ゼロとの言葉もあり、どのような考え方や方法を使って進めてゆくののでしょうか。「待機児ゼロ」については、「子ども・子育て新制度」の本格的な運用の開始により数字上は待機児がゼロになるわけですから、公約にするほどのことはないような気もしますが、これ以外にも何か目玉にするような案があるのでしょうか。隅から隅まで公約を見たわけではないので確実なことは言えませんが、聞くところによると「更なる規制緩和」や「所有地の活用」、「保育士の処遇改善」などを考えているようです。

「所有地の活用」については公立学校の空き教室の活用などは有効なようですが、もともと子どもが少なくなったから教室が空いているわけで、どこでもいいから保育所を作ってしまうとにならないように祈るばかりです。また、駅近くの待機児解消を規制緩和によって行うとすると、保育室の一人あたりの面積や、3階以上の保育室に手を付けることになるのでしょうか。この問題については子どもの保育環境の悪化につながる可能性があるため、そのようなときには積極的に発言する必要があるようです。「保育士の処遇改善」については「子ども・子育て新制度」に移行した時点で、今年度、来年度に実施される国の処遇改善費が上乘せされるので、これに加えて東京都の上乘せがあるかどうかを期待するばかりです。もし上乘せがあるなら、事務手続きは簡便なものが良いなと思っていますが、取らぬ狸の皮算用でしょうか。

厚生労働大臣を経験された新知事ですので、福祉の分野には得意分野との意識もあるでしょうし、特に待機児ゼロを掲げたからには、様々なアイデアが出されるのではないのでしょうか。私たち東京都民間保育園協会は東京都に対して「要望書」の形で様々なアイデアを提言してきました。その提出先は「東京都知事」です。今までの知事はどちらかといえばあまり保育に関心がなかったようですが、今回はもっと関心を持ってもらえるような提言をしていきたいです。

私の理事としての担当は制度対策部です。来年度からは予算対策部と合併して「要望書」の作成にも携わることになりました。これまでの経営層向けの各種研修会に加えて東京都や各区市町村に対しての政策やアイデアの提供を行っていきたくて考えていますが制度対策部だけでは限りがあります。各種研修会の申し込みの質問欄やアンケートに会員の皆様の積極的な提言やアイデアを頂けるととても助かります。次回は5月下旬に東京都の行政説明会を開催予定です。是非ご協力をお願いします。